

MOFA

MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS

外務省採用案内

一般職職員

君の成長が
世界を**結**ぶ。

外務省所在地
〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1
電話：03-3580-3311（代）

[採用に関するお問い合わせはこちら](#)

外務省大臣官房人事課採用班 一般職採用担当



君の成長が世界を**結**ぶ。

日々刻々と変わる国際社会の最前線で、外務省は日本の安全と繁栄、そして日本国民の生命と財産を守るため外交活動を行っています。

相互依存が深まる世界で、日本の将来は国際社会全体の未来と不可分に結びついています。いかに日本が国際社会の一員としての責任を果たしつつ、自国の利益を追求していくか。安全保障や経済外交、情報収集、国際的なルールメイキングへの参加や交渉、海外の日本人の保護、日本の正しい姿の発信にいかに努めるか。

尽きることのない困難かつ多様な課題に対応するためには、きめ細やかな支援もまた重要な任務として常に必要とされ、外務省の一般職職員は、国内外でこの国の外交活動を力強く支えています。

外務省を目指す君たちには、これから多くの困難が待ち受けていることでしょう。でも、きっと大丈夫。国のために尽くす情熱と使命感、あくなき向上心を持った君たちは立ち止まることなく成長できると信じています。

君の成長が世界を結ぶ。

外務省は今、可能性を秘めた君たちの力を必要としています。

CONTENTS

- 03 OVERVIEW
- 05 一般職職員の主な業務
- 06 一般職(大卒・技術系)職員

- 11 若手一般職(高卒)職員 外務省本省勤務

- 13 若手一般職(高卒)職員 在外語学研修

- 15 若手一般職(高卒)職員 在外公館勤務

- 19 中堅一般職(高卒)職員 外務省本省勤務

- 21 ワークライフバランス支援制度

- 23 キャリアパス: 専門官

- 25 キャリアパス: 管理職職員

- 27 大使からのメッセージ

- 28 人事担当者からのメッセージ

- 29 入省1~3年目職員が語る外務省とは
- 30 採用情報

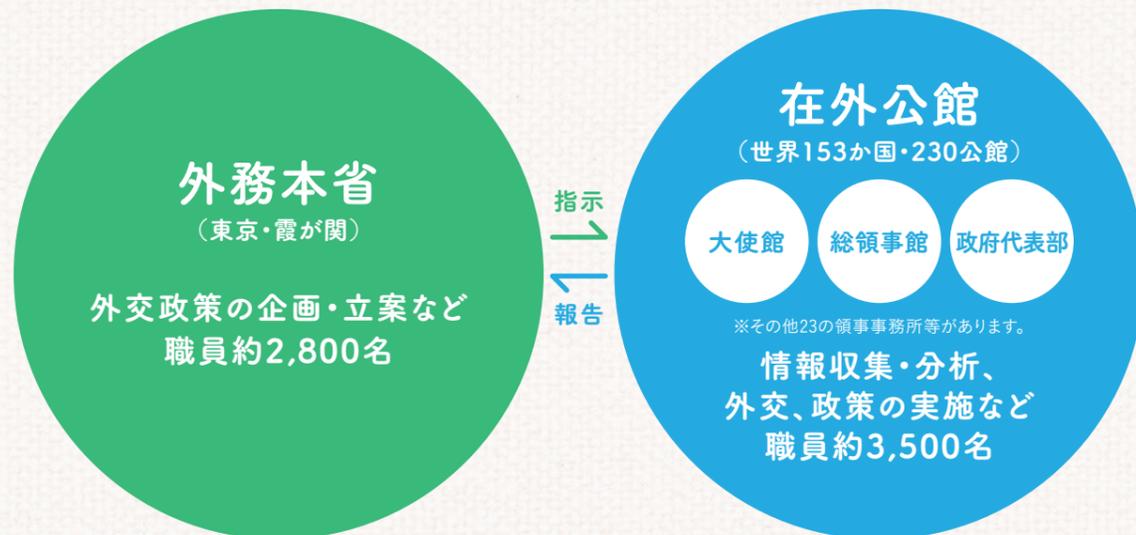
OVERVIEW 外務省の組織・外交活動を支える事務職のエキスパート

外務省の一般職職員は、外交活動を行うために、組織を円滑に運営するという重要な役割が期待されています。会計・経理、文書管理、通信事務、領事事務、在外公館施設管理などの業務を通じて外務本省および在外公館の任務を支えています。

本省と在外公館 日本と世界をつなぐ外務省

外務省は、東京(霞が関)にある外務本省と、世界153か国(令和4年1月現在)に置かれている在外公館(大使館、総領事館、政府代表部)で構成されています。

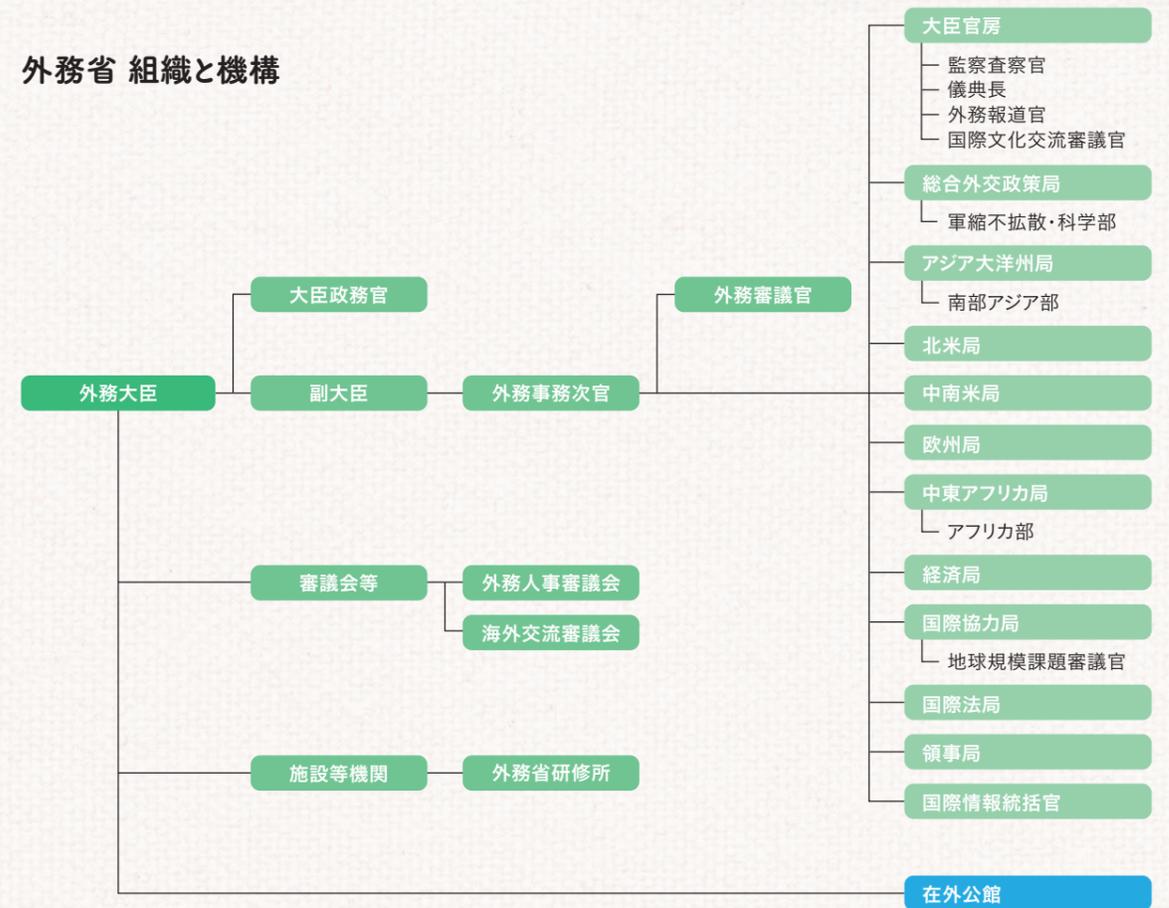
外務本省では、約2,800名の職員が外交政策を企画・立案して日本外交を推し進めており、在外公館では、本省の意向を受けつつ精力的に様々な外交活動を行うとともに、海外にいる日本人の生命、身体、財産を守るために約3,500名の職員が日夜業務に取り組んでいます。



日本外交 5つの取組

- ① 日本と国際社会の平和と安定の確保
- ② 開発協力 ～世界の様々な課題の解決への取組～
- ③ 日本経済の成長と繁栄の追求
- ④ 日本についての理解の促進
- ⑤ 「国民と共にある外交」の推進

外務省 組織と機構



在アメリカ合衆国日本国大使館



在ホーチミン日本国総領事館



欧州連合日本政府代表部



求められる人材

日本のために働きたいという強い情熱に加えて、世界中のどのような国でも勤務できる心身のたくましさ、多様な文化や価値観を理解して受け入れることができる柔軟性、様々な人々と誠実に向き合うコミュニケーション力が必要です。

一般職職員の主な業務

※一般職(高卒)職員は下記のほか、文書管理業務、秘書的業務、要人賓客業務、国会関連業務、人事業務を担当する課室に配属になることもあります。

会計・経理

会計・経理業務は「表舞台に出ることのない地味な仕事」だと思われがちですが実際は全くそのようなことはなく、通信や領事、営繕、広報文化、将来、どの担当になったとしても会計・経理業務で得た知識や経験は必ず役に立つものばかりです。

一般職(高卒)職員は入省後、通常は各課室の庶務班に配属され、出張手続や調達手続を行いながら会計・経理業務の基礎を学びます。在外公館赴任後は、館の運営を支える職員として、また、要人往来時や大型国際イベントの際には宿舍との交渉や車両の手配、先陣を切って準備に取りかかるのも会計担当官の役割です。

この分野のエキスパートになるためには、会計担当官として多くの経験を積み、関係法令を幅広く理解しておくことや、公金の運用に細心の注意を払うことが求められます。会計・経理業務を極めれば会計調査官や予算経理官、監査官など一般職(高卒)職員の複数名が管理職職員になれる道も開かれています。

情報通信

情報通信業務では、本省と在外公館との間でやりとりされる外交情報を24時間365日、いつでも安心・安全・確実に送受できるよう、情報システム基盤の開発・運用・管理・整備を行っています。

一般職(大卒・通信技術系)職員は入省後、本省情報通信課へ配属となり、情報通信分野の中核職員となるべく、外務省の情報システム基盤の開発や運用、情報セキュリティ対策、省内のデジタル化を進めるDX推進などの業務に従事します。

一般職(高卒)職員は、配属された部署の情報通信環境を管理・整備するための担当として情報通信課との連絡調整業務を行います。

また、在外公館へ通信担当官として赴任した場合は、館内の情報通信システムの運用・管理業務に従事します。技術系職員の場合は原則通信担当官として赴任することになり、周辺地域の公館に対するサポート業務も担います。

領事

自然災害や交通事故、テロや誘拐事件、海外において様々なトラブルに巻き込まれた邦人の援護をはじめ、現地の治安や犯罪の傾向と対策の立案、パスポート手続に関する事務、戸籍届出の受付や各種証明書発給の窓口行政サービス、外国人に対するビザの発給、在外選挙の実施、日本人学校・補習授業校への支援、管轄地域内の在留邦人に向けた安全対策や感染症対策の情報発信など、在外公館における領事担当官の業務は多岐にわたります。

現在、海外に在留する日本人は135万人を超えており、領事業務は外務省における重要な任務の一つとなっています。日本人の海外渡航・居住が増加し、活動範囲もますます拡大していく中、本省領事局では在外公館の領事担当官と連携を図りながら、これら領事業務の強化につながる政策の立案。在外公館の領事担当官は現場の最前線として、多くの一般職(高卒)職員が活躍しています。

在外営繕

「在外営繕」とは、世界各国約500の物件におよぶ日本の在外公館施設の保全・維持管理や増改築、老朽化した施設の建替や新築、不動産売買といった一連の業務を指します。

世界の様々な都市にある在外公館施設はその国において日本を代表する「顔」となりますが、各地域の気候、風土、文化、習慣などあらゆる点で日本とは異なる環境下に置かれており、営繕担当官は外交活動の拠点である大使館、総領事館、政府代表部の在外公館事務所施設や、大使、総領事公邸施設の設計、建築、修繕の工事や維持管理を一手に担っています。

本省では在外公館施設の企画や調査、予算要求、基本設計、実施設計、国有財産の管理といった業務を行い、特に設計業務では日本の優秀な設計事務所を選定し、協力しながら設計プランをまとめます。在外公館赴任後は既存施設の保全や新築、大規模増改修のプロジェクトを担当します。

一般職(大卒・技術系)職員 画像情報分析



刻々と変化する国際情勢に対応するため、衛星画像の分析を行っています。

国際情報統括官付
第一国際情報官室
ISHIJIMA Shun
石島 俊
2021年入省 技術系

日本の外交政策を適切に遂行するためには、刻々と変化する国際情勢に機敏に対応し、情報を収集・分析して的確な情勢判断を行い政策に反映させていくことが重要となります。国際情報統括官組織は情報収集に関する総括のほか、グローバルな課題や各地域情勢を含む国際情勢の情報収集・分析を行っています。

私は学生の頃、宇宙物理や素粒子物理を研究していましたが、大学で行われた国家公務員の説明会で外務省に技術系職員、つまり、理系人材の採用があることを知り、大変驚き興味を持ちました。話を伺ってみると「画像情報分析官」の業務内容は、扱っている内容こそ異なるものの、学術研究のサイクルとそっくりで自分にとって自然にマッチする仕事であると直感しました。

現在私は総務班を兼任し、上司や先輩のサポートもいただきながら多様な業務を行い仕事のイロハを学ぶ一方、画像情報分析官としてのトレーニングを積んでいます。入省時から画像分析について詳細な知識を有している必要はありません。素晴らしい上司や先輩に囲まれた良い職場環境ではありますが、機微な情報を扱う緊張感も忘れてはならない、メリハリのある充実した日々を送っています。

学生時代の研究への情熱が、まさか外務省の技術系職員に採用されるという結果につながろうとは夢にも思っていませんでした。興味ある研究に打ち込んでいる方にこそ、少々視野を広げていただき、この仕事へ興味を持ってくだされば嬉しいです。

画像情報分析官に向いている人

「理科や数学」と聞いても拒絶反応のない人	○数学:三角関数は最低限必要。幾何がとても苦手な人は向いていません。形状に対する感性が必要なため幾何への苦手意識はマイナス。ただし、幾何が嫌いでもスケッチのうまい人(正確に描ける人)は向いている可能性があります。 ○理科:中学レベルの理科と初等物理学・化学は必要です。様々なものの仕組みなどに興味があり、ある程度推測できる人は向いています。
ある程度の英語力も必要	○分析官となる場合は英語がある程度読めないと相当大きなハンデになります。
意見の言い方、人の意見への向き合い方	○意見を言いたがらない人、聞きたがらない人は向いていません。 ○人前で話すのが苦手な人はあまり向いていません。 ○口が重くても慎重かつ論理的に意見を言う人は向いている可能性があります。
知識分野は問わず。むしろ一般教養の広さ深さが大事	○分析に必要な分野はいずれにしる勉強することになります。判読の場合は、図鑑と照らし合わせるというより様々な対象物に付随する理論、機構、性質などを基に判断することが重要なので一般教養の広さはとても大事です。

一般職(大卒・技術系)職員 情報通信

「学びたい」という向上心がある人には
最適な職場だと思います。

学生時代の部活動での留学生との交流や、インドネシアでの技術交流ワークショップにサポーターとして参加する中で、技術を活かすつも海外に携わられるような仕事をしたいと思うようになり、各国に拠点をもつ外務省ならばその思いが実現できるのではと、外務省の技術系職員を目指しました。

現在、このパンフレットを読んでいる皆さんの中にも海外に興味がある方が多いのではないのでしょうか。実際に技術系職員の同期や先輩も皆さんと同じように海外に興味があったという方がたくさんいます。

入省当初、ITに関する知識はほとんどありませんでしたが、当時の上司や先輩方から丁寧に教えてもらい徐々に面白さを感じてきました。希望すれば外部の研修を受講することもできるので、スケジュールに余裕があるときは積極的に活用しています。新しいことを学びたい、知りたいと成長意欲のある人を支援する体制が整っている点は大変魅力だと思います。

現在は全部で250以上ある在外公館のLANシステムを更新するため、在外公館の担当者との調整や現地へ技術者を派遣する手続、また、クラウドサービスの導入にかかる調整などを行っています。日本と他国における外交の基盤となる情報通信インフラシステムを支える業務の一つなので、問題が生じると直接、省員の業務に影響する可能性があり、常に慎重な対応が求められていますが、それがやりがいであると感じています。

外務省では業務を通じて情報通信に関する様々な案件に携わることで、広く専門性を高められ、なにより語学留学や海外勤務で成長できる機会があります。是非一度外務省情報通信課に足を運んでみてください。



大臣官房情報通信課
SAIMARU Maki
西丸 真生
2019年入省 技術系



デジタル庁戦略・組織グループ
KURODA Yosuke
黒田 洋介
2008年入省 技術系

外務省での経験が
霞が関の改善につながっています。

これまで技術系職員は採用された部署にとどまることが多く、本省ではずっと情報通信課に所属していましたが、現在私がデジタル庁に転出しているように最近は他府省への出向も増えてきており、前所属先の内閣官房IT総合戦略室に在籍していた当時から政府情報システムの最前線で働いています。

各府省には古くから増築を重ね続け、かなり複雑であり効率がよくないシステムが多く残っています。それらに最新の技術動向や構築時に気をつけるポイントをアドバイスし、より効率的かつ効果的な構築・運用ができるシステムになるよう監視することが私の仕事です。

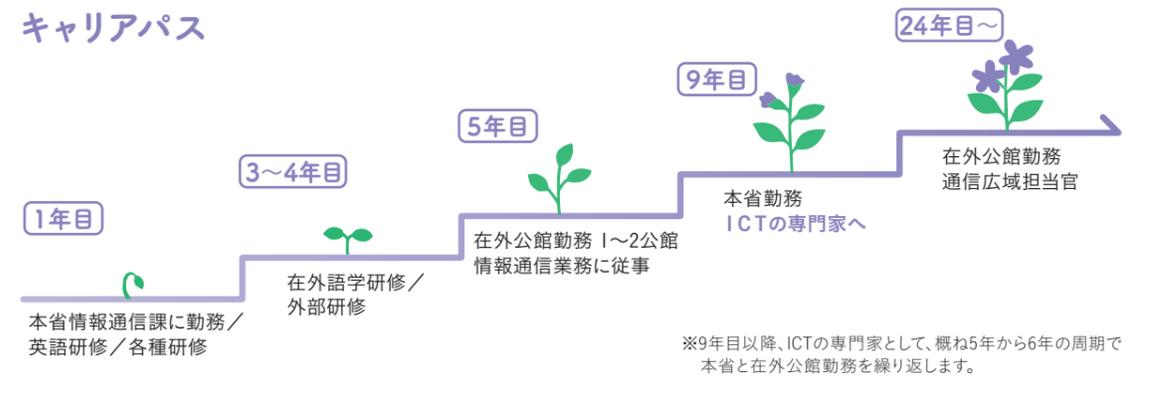
例えばサーバを省内に構築したものの、CPU利用率などに余裕があるシステムに対してクラウドの活用を提案したことがあります。オートスケール機能に必要なだけの計算資源を適時に得られることから、予算も効率的に執行することができるようになり、とても喜ばれたということがありました。このようなデジタル庁での仕事は大学で学んできたことを基礎に、外務省のネットワーク設計、構築、運用に携わった経験が活かされた場面でもあります。

また、私もこれまで2か所の在外公館で勤務しましたが、日本では考えつかないような意見を持った方々も多く、情報システムに対する見方も180度異なっていたりとカルチャーショックを受けました。海外で仕事をし、生活したことで、自分の価値観にとらわれず、多面的に物事を考えなければいけないのだということをもっと知ることができたと思っています。皆さんにも是非外務省でたくさんの経験を積んで欲しいと願っています。

入省後の研修制度について 一般職(大卒・通信技術系)職員には、以下の研修が用意されています。

入省1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・初任研修各種講義(入省直後、終日1か月間) ・英語研修(グループレッスン、週2回、約5か月間)
入省2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語研修(グループレッスン、週2回、約9か月間)
入省3~4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・在外語学研修(原則英語) ・ICTの最新技術や情報セキュリティ対策習得のための外部研修

キャリアパス



一般職(大卒・技術系)職員 在外営繕

自分が関わった建物が世界中に残っていく仕事です。

私は学生時代に都市計画の研究をしていました。就職を考え始めたころ、たまたま開催された外務省の説明会に参加したのですが、その時に外務省で勤務している大学OGがいらっしやることを初めて知り、いろいろな事業についての説明を受ける中で「外務省にも建築に携わることができる部署があるのか」と驚いたことを覚えています。

営繕技術系職員の重要な仕事の一つは設計段階から施工段階まで図面の確認はもちろんのこと、スケジュールや予算にも気を配り、計画が円滑に進むよう設計業者や施工業者との調整を行うことです。

新築であればだいたい4～5年の年月がかかるので最初から最後まで携わるといことはなかなか困難です。しかし、その分いろいろな物件に関わりながら、それぞれの国や地域の文化や独自の制度を知ることができます。

また、海外での工事にはトラブルも多く、例えば「異常気象が続いて工事ができない」とか「在外公館の位置が道路拡張計画に含まれてしまい急な設計変更をしなければならぬ」など、本当に思ってもいなかったトラブルが起きてしまうことがあります。これらの緊急事態に慌てることなく対応して、ようやく建物が完成したときの喜びはひとしおです。

自分が関わった施設や建物が世界中に存在し、それが数十年にわたり残っていきます。営繕技術系職員はそんな達成感と感動を得ることができる仕事です。



大臣官房在外公館課営繕室
ICHIJO Heitaro
一条 平太郎
2018年入省 技術系



在インドネシア日本国大使館
KATAGIRI Yukimi
片桐 雪美
1993年入省 技術系

今までの経験を生かして管轄公館に技術的な助言を行っています。

入省するまでは海外旅行の経験も無かった私ですが、技術系職員が存在を知り海外に建物を建てるのは面白そうだなと思い外務省を選びました。

入省後は数年間本省で勤務し、その後は在ベトナム日本国大使館、在南アフリカ日本国大使館、在大韓民国日本国大使館で新営・改修や維持管理業務を経験し、今は在インドネシア日本国大使館で営繕担当およびアジア南部・大洋州営繕広域担当官として勤務しています。

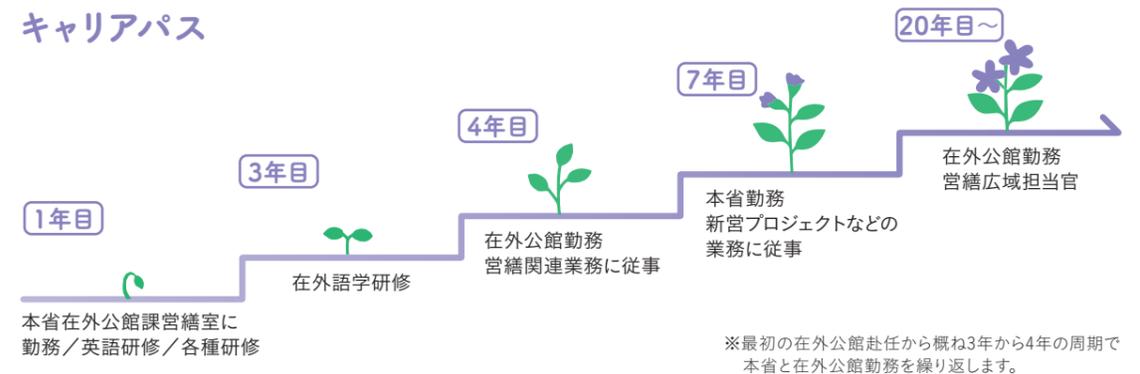
日本の官公庁施設は施設の長寿強化を目指して効率的な修繕を実施する必要がありますが、全在外公館に技術系職員を配置することは難しいため、外務省では拠点公館に広域担当官を配置して管轄公館に技術的助言を行っています。営繕広域担当官の業務とは、地域によって異なる気候風土・商慣習や建設環境を踏まえて管轄公館に適切な助言を行うことが求められる緊張感のある仕事である一方、今までの経験を生かして各公館をサポートするやりがいのある仕事です。

とはいっても、実は広域担当官となってまだ1年目です。管轄公館の担当者に頼られる広域担当官になれるように努力している毎日です。私は夫と子供を連れて赴任しており、子供の進学や家族の健康管理などで大変なこともあります。家族揃っての海外勤務は子供にも良い経験になっているのではと思います。

入省後の研修制度について 一般職(大卒・営繕技術系)職員には、以下の研修が用意されています。

入省1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・初任研修各種講義(入省直後、終日1か月間) ・英語研修(グループレッスン、週2回、約5か月間)
入省2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語または専門語研修(グループレッスン、週2回、約9か月間)
入省3年目以降	<ul style="list-style-type: none"> ・英語研修(グループレッスン、週2回、約3か月間) ※専門語履修者は自己学習 ・在外語学研修(英語または専門語) ・建築および設備関係技術や公共建築行政にかかる外部研修

キャリアパス



若手一般職(高卒)職員 外務省本省勤務



日本外交にとって重要な国際会議の舞台裏を支え、仕事の楽しさとやりがいを実感しています。

高校2年生の時、オーストラリアへ2週間の短期留学を経験しました。そこで関わった海外の方々がとても親日的で「こんなにも日本のことを良く思ってくれている人もいるんだな」と感動し、それからは国同士の結びつきや世界平和に興味を持ち、外務省を目指しました。

現在は経済局政策課調整班でG7・G20主要国首脳会合(サミット)や外相会合、APEC首脳・閣僚会合など、日本外交における対外経済政策に関する大型国際会議を成功させるための調整業務を担当しています。これらの国際会議は開催が決定してから長い時間をかけて準備を行うため、在外公館を通じて要人宿舎や作業室の確保、移動手段の手配、総理大臣や外務大臣の同行者とりまとめや関係各省庁との調整が必要となり、時期によってはかなり忙しい日々を過ごすこととなりますが、職場はいつも明るく良い雰囲気の中で楽しく仕事をさせてもらっています。

自分が作成した資料が外務大臣や省内幹部職員の目に触れることもありプレッシャーも大きいのですが、その分とてもやりがいのある仕事なのでモチベーションを高く持って仕事ができています。

私はもともと語学に興味があったので入省からの語学研修はとても楽しく、休日も海外の映画を見たり、積極的に外国語の勉強に取り組んでいます。外務省では入省後、必ず在外公館勤務があるのでそれが今からとても楽しみです。



経済局政策課
WATABE Iyo
渡部 惟世
2021年入省

世界中で活躍できる領事を目指して何事にも全力で取り組んでいます。

学生時代、外務省の採用パンフレットで領事局に勤務する先輩職員の記事を読み、その内容に心を打たれて外務省を志望しました。採用面接でも「領事局で働きたい」と言ったことを覚えています。

私が入省したばかりの頃、入省直後に行われる初任研修が緊急事態宣言の発令を受けて全て自宅での受講に変更となりました。研修期間終了後、かねてからの希望が叶い領事局政策課に配属され、主に庶務業務を担当していたものの、慣れない業務にミスを重ねてしまい、当時は同期に相談できる相手もおらず挫折しかけたことがありましたが、落ち込んでいる私に職場の先輩たちが声をかけてくれたり、いろいろと気遣っていただき乗り越えることができました。

今は庶務業務と平行して領事初任者研修や新たに在外公館長となる方へのブリーフィング資料の作成、在外公館で働いている領事の方々のサポートを担当しており、仕事を無事やり終えたときに褒めていただけると「頑張ってたかった」とやりがいを感じる毎日です。

領事局では外務省職員のみならず様々な経歴を持った人たちとの出会いがあり、在外公館で領事を担当してきた先輩方のいろいろな体験談を聞く機会もあります。大使館や総領事館に勤務している領事は海外にいる日本人にとって一番身近な存在です。その方々が懸命に仕事をしている姿を見ると私自身も刺激を受け、将来世界中の在外公館で活躍する領事になりたいと思い何事にも全力で取り組んでいます。



領事局政策課
OSHIRO Kazuki
大城 和貴
2020年入省

1日のワークスタイル

- 9:10 登庁
メールの確認をして始業前の準備をします。
- 9:30 業務内容は日々変わっていくので必要に応じてミーティングや電話連絡を行います。
- 12:30 昼休憩
ときには自分でお弁当を作ってきたりと、ほっとする時間です。
- 13:30 大きな国際会議があるときは在外公館との調整など、やるがたくさんあります。
- 18:15 退庁



後輩へのメッセージ

入省して半年経ちますが、その時その場の変化に応じた業務を行う調整班の仕事は、前例が通用しないことも多く、未だ慣れないことばかりです。ですが、上司の方々に協力していただきながらそれをひとつひとつ乗り越えることで自分の確かな成長を実感することができます。2023年に日本で開催されるG7サミットや2025年には大阪万博があり外務省経済局が関与するイベントがたくさんあります。興味がある人は是非私たちと一緒に仕事をしましょう。



後輩へのメッセージ

外務省の魅力は何といても海外で仕事ができることです。私自身も在外公館への赴任を楽しみにしています。入省直後は戸惑うことも多いのですが、一度や二度の挫折にめげずに真面目に取り組むことで、1年目の頑張りが2年目につながっていきます。ここは努力が必ず結果として報われる職場です。皆さんも挑戦することだけは忘れないでください。



1日のワークスタイル

- 9:00 登庁
新聞当番や資料の整理を行います。
- 10:00 配車業務や資料作成など、通常業務のほか、突発的に発生する仕事にも対応します。
- 12:30 昼休憩
- 13:30 新しく公館長になる方へ着任される在外公館の領事業務関連の説明や諸々の資料を作成します。
- 17:45 退庁





在バルセロナ日本国総領事館
HIKIKI Hozuka
引地 秀佳
2016年入省

入省から現在までの経緯

- 2016年 入省
欧州局ロシア課(庶務業務)
- 2018年 大臣官房報道課(取材調整業務)
- 2020年 7月 大臣官房人事課(人事記録業務)
9月 在スペイン日本国大使館
スペイン・マドリードで
スペイン語学研修
- 2021年 6月 在バルセロナ日本国総領事館
(通信・会計業務)



語学研修のおかげで自分の言葉で意思疎通ができるようになりました。

私が外務省を志したきっかけは、高等専門学校時代に訪問した在大韓民国日本国大使館で館員の方から大使館業務について話を伺った際、異国の地で活躍されている先輩職員に強く感銘を受け「自分も日本の外交を支える一員になりたい」と思い外務省を目指すようになりました。

現在、在バルセロナ日本国総領事館の官房班員として通信業務のほか、会計、領事、広報文化の一部業務に従事しています。バルセロナの館員は10人に満たないため、お互い助け合いながら業務をこなすことが多く、責任感を感じつつ連帯感も味わえるやりがいのある職場です。

通常業務ではスペイン語を使う場面もあり、例えば現地職員とのコミュニケーションや通信機器の修理・工事を依頼する際の現地業者とのやりとりではスペイン語が中心となります。

専門用語が多く苦戦することもあります。語学研修で学んだことを生かし、まだまだ不器用ですが通訳を介さずに自分の言葉で意思疎通ができるようになりました。語学研修での学びにひたすら感謝しています。

私は早い段階からの海外勤務はとても意義のある経験になると確信しています。海外での生活には日本で知ることができなかったたくさんの発見があります。在外公館勤務は自身の視野を広げることができるので、スキルアップやキャリアアップのみならず、社会人としての成長にも大きく貢献していると思います。

在外語学研修について

私は約9か月間、マドリードにある語学学校でスペイン語を学びました。月曜日から金曜日まで毎日文法のクラスを4時間、会話のクラスを1時間受講。1クラス10名程度の少人数クラスだったので授業では発言の機会が多く、積極的に参加することができました。

コロナ禍での研修であったため現地の方との交流の機会は非常に少なかったのですが、スペイン語を繰り返し練習するために言語学習用のSNSアプリを活用して複数の友人と知り合い、週末はその友人たちと親睦を深めながらスペイン語の上達に励みました。



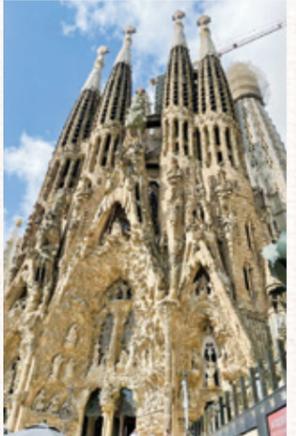
1日のワークスタイル

- 8:45 出勤
メール確認や通信機器の確認
- 10:00 会計資料作成
- 13:30 昼休憩
毎週火・水曜日は総領事館に家庭教師を招いてスペイン語のレッスンを1時間受講
- 15:00 領事業務(在外選挙関連業務)
- 16:00 館内会議
- 17:00 通信機器点検 システム更新作業
- 18:00 退勤

プライベートタイム

バルセロナはスペイン屈指の観光都市でサグラダファミリアをはじめとした美しい建造物が残る芸術の街です。

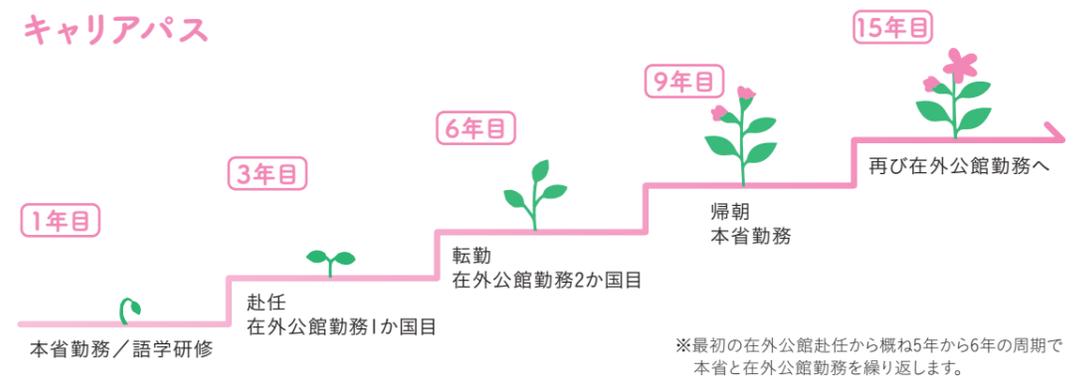
現地の方々は親日の人が多く、とても明るく友好的に接してくれます。現地特有の趣味を始めたいと思えばサルスとパチャータにチャレンジしており、毎週教室に通いながら異文化理解を深め、現地の方々と交流できてとても良い気分転換になっています。




入省後の研修制度について 一般職(高卒)職員には、入省後、在外公館勤務に備え以下の研修が用意されています。

入省1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・初任研修各種講義(入省直後、終日1か月間) ・英語研修(グルーブレッスン、週2回約5か月間)
入省2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・専門語学研修 (英語、スペイン語、中国語、フランス語、ポルトガル語、ロシア語のうち1言語、グルーブレッスン、週2回、約9か月間) ・在外公館官房要員事務研修(3月午前、1か月間)
入省3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・在外公館赴任前研修(赴任前、終日5日間) 担当業務に必要な知識を習得

キャリアパス





国境を越えた人たちとの出会いで 自分の可能性が広がります。

海外で視野を広げたいという思いから外務省への入省を決め、現在私は在外語学研修を終えて中東の在クウェート日本国大使館に勤務しています。クウェートという国は日本に住んでいるとあまり馴染みがないと思いますが、中東地域の中では比較的治安も安全で、砂漠や海、自然の美しさを感じながら日々生活をしています。

大使館では通信業務を担当しており、この「通信」とは館内にある電子機器の運用・保守を行う在外公館の運営に不可欠な環境を構築する業務となります。印象的だった出来事は2020年10月、クウェート首長崩御の際に外務大臣が弔問することになった時のことです。本来、外務大臣の外国訪問というのは数週間以上の時間をかけて受け入れの準備を行いますが、その時は僅かな準備期間にもかかわらず無事に大臣の受入を成功させることができ、大きな達成感とやりがいを感じました。

また、私は本省勤務の後、ロンドンで6か月の語学研修の機会をいただきました。当時、ロンドン年越しカウントダウン花火のチケットが入手できず参加を諦めていたとき、語学研修中に知り合いになった友人が会場内の一人ひとりに声をかけ、チケットの余りを尋ねるという大胆な方法により一緒にいた全員が花火を間近で観覧することができました。このように国境を越えた人たちとの新たな出会いでは、文化、価値観の違いに驚き、自分の可能性を広げることにつながります。

休日は、博物館で歴史に触れ、外交団のサッカーチームへ参加、日本人会のソフトボール大会など、現地特有の体験をしながら海外勤務を充実させています。このほか、旅行は昔からの趣味で、旅先で同期や知り合いと合流できることは外務省の素晴らしい点の一つです。



在クウェート日本国大使館
KOBAYASHI Masaya
小林 将也
2015年入省

在外公館が担う役割はとても奥深く、 大使館を支える一員として成長していきたい。

私は現在、在大韓民国日本国大使館で会計業務を担当しています。会計業務は日々の支払いから公金管理、各種契約事務、館員や現地職員にかかる諸手当の支給および物品管理に至るまで幅広い手続をこなしており、大使館の運営を支える重要な仕事です。

会計業務は関連法規に則り適正に行う必要があるため経験が浅い私にとっては直面する問題も多いのですが、分からないことは経験豊富な先輩からアドバイスをもらって解決することで専門的な知識を身につけながら責任や目標をもって業務に取り組んでいます。また、前任地の在ガボン日本国大使館では日本文化紹介イベントに携わり、現地の多くの人々が日本文化に触れて楽しむ姿を見て日本の魅力を伝えることができたことにとても感動しました。

仕事以外にもプライベートでは語学学習に取り組んだり、休日には美味しいレストランやカフェを探したり、歴史や文化に触れるために国内旅行をして、その国ならではの楽しみ方や趣味を見つけて生活を充実させることも、仕事に対する良い原動力になっています。

日本の外交活動において在外公館が担っている役割は大変奥深く、会計業務以外にも様々な機会を通じて多くの貴重な経験をすることができます。

今後たくさんの方の努力をしながら大使館を支える一員として成長していきたいと思っています。



在大韓民国日本国大使館
KIKUCHI Nana
菊池 奈々
2014年入省

入省から現在までの経緯

- 2015年 入省
総合外交政策局軍縮不拡散・科学部
不拡散・科学原子力課(庶務業務)
出張手続や国際会議の準備など
- 2016年 伊勢志摩サミット準備事務局
空港プレス班で各国首脳を撮影する報道陣と
連絡・調整業務を担当
- 2017年 大臣官房儀典外訪問室
(要人外訪問関連業務)
総理大臣5回、外務大臣11回の外訪問に同行
- 2019年 在英国日本国大使館
英国・ロンドンで英語語学研修
- 2020年 在クウェート日本国大使館
(通信・会計業務)



後輩へのメッセージ

海外での勤務は誰もが初めての経験、環境の変化に戸惑いますが、「住めば都」と古くから言われるように生活に順応していくものです。一般職の職員でありながら、外交の舞台裏を支え、個々の力が発揮でき、人間的に成長することのできる職場です。是非皆さんも歴史的瞬間の立会人となってみたいいかがでしょうか。



後輩へのメッセージ

外務省では在外公館での勤務を通じて他にはない貴重な経験ができます。海外では職場環境も生活環境も日本とは異なるため苦労することも少なくないのですが、それ以上に様々な出会いや発見があり多くの学びを得ることができるとても魅力的な職場です。是非皆さんも一緒に楽しく働きませんか。



入省から現在までの経緯

- 2014年 入省
大臣官房会計課監査室
- 2016年 大臣官房会計課宿舍対策室
- 2018年 在ガボン日本国大使館
(通信・会計業務)
- 2020年 在大韓民国日本国大使館
(会計業務)





セネガルの朝、フランスでの経験。 その全てが私の『財産』です。

私は在セネガル共和国日本国大使館で通信担当官として勤務しています。セネガルの朝は鶏の声から始まります。綺麗な朝焼けとともに子供と朝食を食べ、海沿いを車で走りながら幼稚園への送迎と出勤です。東京やパリでは経験できないこの生活スタイルがとても新鮮で気に入っています。

一方、大使館の業務では停電が日常茶飯事ですので、その度に通信機器のトラブル解決に奮闘しています。通信業務を担当するのは今回が初めてで日々マニュアルとにらめっこしていますが、世界各国で同じく通信業務にあたる同期や本省のサポートをいつでも得ることができるので安心して業務を行える環境があります。

前任地の在フランス日本国大使館では当時の徳仁皇太子殿下のご訪問やG7サミットの開催など要人往来イベントが目白押しでした。殿下のご訪問では衆人が殿下のお姿に感激される様子、殿下の心優しいお気遣いを間近で拝見し、とても感慨深い気持ちになったのを覚えています。当時は担当していた会計業務と並行して連日連夜対応に追われ苦労しましたが、とても充実した日々を過ごしました。

今後も様々な国で、その国ならではの体験やイベントを外交・私生活の『財産』にしていきたいと思っています。



在セネガル日本国大使館
SAKA Mio
坂 実緒
2013年入省

3か国目の在外公館勤務。 海外の楽しさを存分に味わっています。

これまでスーダン、デンマークでの勤務を経て、サウジアラビアは連続3か国目の在外公館勤務となりますが、それぞれの国で文化や気候風土、価値観の違いをたくさん経験してきました。サウジアラビアは大使館の雰囲気も非常に良く、先輩や同僚と助け合いながら業務を行い、休日には館員とテニスをして過ごしています。

勤務地以外にも応援で他国へ出張する機会が何度かあり、2016年にケニアで開催されたTICAD VI(第6回アフリカ開発会議)では、現地インフラの関係からなかなか思うように作業が進められない中、通信機器の調整や現場での動線確保など広範囲にわたる業務に携わり、初めて経験する大規模国際会議に苦しみもありましたが、先輩方にご指導いただきながら複数の担当業務をやりきったことで自身の成長にもつながりました。

私が外務省を志望したきっかけは、中学生の時に市の事業で海外へ行き、日本文化を現地の学校生徒やホストファミリーに紹介した経験から海外で働くことに興味を持ったことです。外務省では普段行くことのないような国に行けることや、休暇を利用して同期や出張中にお世話になった方々の勤務地に訪問してその国を知ることができたりします。海外の楽しさを存分に味わうことのできる環境にあるので長期海外生活であっても不安を感じることは少ないと思います。



在サウジアラビア日本国大使館
KONDO Satoshi
近藤 悟志
2012年入省

入省から現在までの経緯

- 2013年 入省
大臣官房儀典賓客室
(外国人要人訪日支援業務)
- 2015年 北米局北米第一課(庶務業務)
国会宮井作成業務の支援など
- 2017年 経済局政策課(秘書業務)
在フランス日本国大使館
フランス・トゥールで5か月半のフランス語学
研修、その後大使館で会計業務に従事
- 2021年 在セネガル日本国大使館(通信業務)



後輩へのメッセージ

外務省では各分野で専門性を高めることができ一方で、異なる職務経験を積むこともできます。異動する度に新たな仕事を覚えるのに苦労することもありましたが、多様な価値観に常に触れる職場だからこそ、その変化に富んだ職場環境にも魅力があります。外交を支える一員として、是非その魅力と一緒に体験しましょう。



後輩へのメッセージ

外務省は世界各地で働くことができ、それぞれの国や地域で、現地の環境や人に寄り添って勤務することで日本とは異なる文化や価値観を学び、日本の事をより知るきっかけにもなります。希望により海外で働き続けることもできますので皆さんも外交官の一員として広い世界を自分の目で確かめてみませんか。



入省から現在までの経緯

- 2012年 入省
中東アフリカ局中東第二課(庶務業務)
- 2014年 国際協力局政策課(国会関連業務)
- 2016年 在スーダン日本国大使館
(通信・会計業務)
- 2019年 在デンマーク日本国大使館
(通信・会計・領事・警備業務)
- 2021年 在サウジアラビア日本国大使館
(通信・会計・領事業務)





知識と経験は自信になり、人間としても成長できる。
外務省はそんな職場です。

学生の頃、いつかは海外で仕事がしたいとただ漠然と考えていて、業務説明会で先輩方から仕事の話や在外公館での経験談がとても興味深く、自分もチャレンジしてみたいという気持ちになったことが入省のきっかけです。

入省して1年目は人事課に配属され、採用を担当することになりました。数か月前まで学生だった自分が今度は省員という立場になって面接のアレンジ、当日の説明や案内、入省に関わる諸手続を担当し、班員が一つのチームとして目標に向かって仕事をする楽しさを知りました。

今は秘書業務を担当しており、幹部職員の日程調整が主な業務ですが、関係各課との日々の連携、情報収集は欠かせないので担当者とのコミュニケーションを大切にしています。

これまで本省、在外公館で様々な分野の仕事をしてきました。会計や通信などの官房業務、各国の大統領や首相が訪日する際の接遇、日本で開催する国際会議の準備と、秘書業務とは全く違う分野に思えますが、それぞれの分野で得た知識はすべて今の仕事に活かしていますし、経験が増えることは自分にとっても自信になると思います。

外務省での仕事は幅広く、自分の得意分野や興味のある分野があれば、その分野を希望することができます。様々な仕事を経験することで人間としても大きく成長できる、外務省はそんな職場だと思います。



アジア大洋州局
地域政策参事官室
ODAGIRI Yuka
小田 桐 由佳
2003年入省

経験豊富な先輩や頼もしい同僚がたくさんいる。
これがまさに外務省の魅力のひとつです。



中東アフリカ局
アフリカ部アフリカ第一課
YOSHISATO Takashi
吉里 崇
1996年入省

1996年に外務省に入省し、最初の配属先は情報通信課。同じくほとんどパソコンを使った経験のない同期とブラインドタッチの練習から始まった私の外務省生活も25年となりました。入省から約3年で赴任したパキスタンのカラチが私にとっては初めての海外勤務地でしたが、着任から約2か月後、クーデター発生の一報を受け、着の身着のまま夜間に総領事館に出勤したことを今でも覚えています。

これまで家族と一緒に4か国で勤務をし、全ての勤務地で現地語が異なっていたために日常生活にはその都度苦労をしました。買い物などで頻りに現地語に触れる妻が、駅の切符売り場で突然スロバキア語を話し始め切符を購入したときには驚きましたが、様々な言語に触れることができることもこの仕事の魅力であるように感じます。

現在勤務しているアフリカ第一課は担当する国数も多く、対処に苦慮する仕事も発生しますが、そのようなときには経験豊富な先輩からの助言や頼もしい同僚から知恵を得て問題解決を図ることができ、私にとってこの方々の存在が大切な財産となっています。

経験豊富な先輩がたくさんいて、同僚のサポートもある環境が、まさに外務省の魅力のひとつではないでしょうか。

入省から現在までの経緯

- 2003年 入省
大臣官房人事課
- 2005年 大臣官房儀典外国訪問室
- 2007年 在シアトル日本国総領事館(語学研修)
- 2008年 在メルボルン日本国総領事館
- 2010年 在シリア日本国大使館
- 2012年 大臣官房儀典賓客室
- 2015年 伊勢志摩サミット準備事務局
- 2016年 経済局政策課
- 2019年 アジア大洋州局地域政策参事官室



後輩へのメッセージ

在外公館での勤務は日本では経験できない歴史や文化に触れながら生活できる貴重な機会です。初めは人種も言語も違うことに戸惑うかもしれませんがそれは皆同じです。どんな仕事も楽しいことばかりではありませんが、いろいろな経験をすることで自信が持てるようになり達成感も得られます。外務省での仕事は自分の可能性を広げるチャンスがあります。皆さんも新しい自分を発見してみてください。



後輩へのメッセージ

私もそうでしたが、特に海外勤務では環境も大きく異なり、楽しいこともあれば苦しいこともたくさんあります。ただ、その苦しさを一生懸命に乗り越えた今、それらのことが本当に良い思い出、確かな知識や経験として残っています。これまで私が先輩方からいただいたものを、今度は後輩の皆さんにお返ししたい。若い皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみに待っています。



入省から現在までの経緯

- 1996年 入省
大臣官房情報通信課
- 1999年 在カラチ日本国総領事館
- 2002年 在オーストリア日本国大使館
- 2005年 国際法局国際法課
- 2008年 経済局国際貿易課
- 2012年 在スロバキア日本国大使館
- 2015年 在チュニジア日本国大使館
- 2019年 中東アフリカ局アフリカ部アフリカ第一課



ワークライフバランス支援制度

外務省ではワークライフバランス支援制度も充実しています。実際に支援制度を活用したお二人を紹介します。



在ブルガリア日本国大使館
SHIMAMURA Chieko
島村 千恵子
2003年入省

家族の形や幸せは人それぞれ。 一人一人にあった幸せを探すことができる職場です。

私は現在、夫とともに在ブルガリア日本国大使館で勤務しています。家事育児をしながら在外公館で勤務することに対する不安はなく、外交を支える屋台骨としての仕事は自分自身の大切な時間だと感じています。

平日は夫と協力しながら仕事終了と同時に子供のお迎えへ行き、あつという間の就寝時間。娘と話をしながら寝ることも多々ありますが、子育てをしながら働かせていただける喜びを日々感じています。仕事や育児に迷った際は一人で抱え込まず周囲に相談しながら丁寧に取り組むよう努めていますが、そういう環境を作ってくださっている上司や同僚の優しさのおかげであると日々感謝しています。

娘は現地の幼稚園に通っていて現地語で寝言を言うまでになりました。娘の話を聞くことが毎日の楽しみで、子供を通じてブルガリアの文化や人々に触れることもでき、家族で生活できることがとても幸せだと感じています。

家族の形や幸せは人それぞれです。外務省は一人一人にあった幸せを探すことができる職場だと思います。

入省から現在までの経緯

- 2003年 入省 経済局経済第一課
- 2005年 大臣官房会計課総務室
- 2006年 大臣官房会計課監査室
- 2007年 在アメリカ合衆国日本国大使館
- 2009年 在パナマ日本国大使館
- 2011年 中東アフリカ局中東第二課
- 2013年 結婚
- 2014年 配偶者同行休業取得
夫は在バチカン日本国大使館勤務
- 2015年 第一子出産 育児休業2年取得
- 2018年 在ブルガリア日本国大使館



外務省職員が利用している主な支援制度

職務専念義務免除

妊産婦が健康診査や保健指導受診、通勤時の混雑が妊娠中の負担になる場合、勤務しないことが認められます。



産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間の休暇を取ることができます。



配偶者出産休暇

配偶者の出産に伴う入院時・出産時の付添などを行うために休暇を取ることができます。

男性職員の 育児参加のための休暇

配偶者が出産する場合、その出産にかかる子または小学校就学に達するまでの子を養育する男性職員が休暇を取ることができます。

育児短時間勤務制度

小学校就学前の子を養育する場合、該当する勤務形態により勤務時間を短縮することができます。



育児時間

小学校就学前の子を養育する場合、1日の勤務時間のうち最大2時間まで勤務時間を短縮できます。

育児休業

3歳未満の子を養育する場合、配偶者の就業の有無にこだわらず、3歳の誕生日の前日までに休業できます。

子の看護休暇

小学校就学前の子を養育する職員が子の看護をする必要がある場合、年5日の休暇が取得できます。



テレワーク勤務

1日の勤務時間全体または一部を自宅で勤務することができます。



早出遅出勤務

小学校就学前の子の養育、放課後児童クラブなどに通う小学生の子の送迎を行う場合、始業・終業時刻を繰り上げまたは繰り下げて勤務することができます。

○上記の制度以外にも、フレックスタイム制、配偶者同行休業制度などを整備しています。



大臣官房在外公館課
KAWASAKI Yosuke
川崎 洋介
2003年入省

職場復帰した今だからこそ言える 男性の育児休暇制度活用のメリット。

私は二人目の子供が生まれる3か月ほど前から上司や同僚に相談し、出産に合わせて「男性職員の育児参加のための休暇」や「育児休業」を取得しました。約2か月間の育休を取ったおかげで子供と過ごす時間が増え、私自身も父親として成長することができたように思います。

長い時間継続的に育児や家事に参加することで日々の子供の成長を感じることができ、上の子との信頼関係も深まりました。また、何よりも自分でいろいろなことを経験することで育児や家事の苦労や大変さを実感し、それを妻と共有できたことは今後の育児と仕事の両立を考える上でとても良かったと思っています。

育休取得の相談をしたときに皆が快く賛同し理解を示していただけたように、外務省には男性の育児休暇制度がしっかりと整備されており、その制度を取得しやすい職場環境や雰囲気があります。仕事に復帰した今だからこそ育休期間を振り返って貴重な経験をするのができた実感していますし、新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいます。

入省から現在までの経緯

- 2003年 入省 大臣官房領事移住部外国人課
- 2005年 経済協力局国際開発協力第二課
- 2007年 在アメリカ合衆国日本国大使館
- 2010年 在ハバロフスク日本国総領事館
- 2013年 在エチオピア日本国大使館
- 2016年 大臣官房会計課主計室
- 2019年 大臣官房在外公館課経理室
- 2021年 7月 育児休業取得
10月 職務復帰



キャリアパス: 専門官

専門官とは…経理(会計)、情報通信(IT・情報セキュリティ)、領事、ロジスティクス、総務・渉外、儀典の分野において専門性を高め、勤務成績が特に優秀な職員を各分野の「専門官」として認定しています。



経理(会計)専門官

自分にあった分野で経験を積み、専門性を高められます。

入省時に会計課に配属となり、日々の業務や諸先輩方からの指導を通じて会計の基礎を学び、財務省主計局への出向や在外公館勤務を経て、今は経理(会計)専門官として外務本省や在外公館の会計経理状況や組織マネジメントも含めた業務効率化を指導・監査する業務に従事しています。

会計は一見地味なイメージですが、国の施策と会計は表裏一体であり、刻々と変化する国際情勢を会計面から支える重要な業務です。また、公金を扱う者として大きな責任もあり、難しさと同時にやりがいも実感しています。

私は語学や経理に長けていた訳ではなく、漠然と外交に携わる仕事をしたいという気持ちで入省しましたが、自分にあった分野で経験を積むことができ、その専門性を高められたことは非常に恵まれた環境だったと感じています。

外務省は本人の意欲と努力次第で様々なチャンスや活躍の機会が得られる素晴らしい職場だと思います。



大臣官房総務課監察査察室
OGUCHI Nobuo
小口 修男
1997年入省



在ニューヨーク日本国総領事館
WATANABE Isao
渡邊 功
1998年入省

領事専門官

外務省には熱意と積極性を持った人をサポートする環境があります。

入省当時、領事とは異なる担当でしたが「人の助けになる仕事に携わりたい」との希望が叶い現在に至ります。旅券・証明書の発給、在外選挙、海外子女教育など、領事の仕事は多岐にわたりますが、現在は海外でトラブルにあった日本人を支援する邦人援護や、その国・地域の治安や感染症に関する情報発信の業務を主に担当しています。被害者や関係者の心情に配慮した支援や、適時適切な情報発信は事案ごとに対応が異なるため判断が難しく結果が伴わない場合もあります。ですが、関わった方々から感謝の言葉をいただいたとき、領事業務ならではの達成感を得られることにやりがいを感じています。

私は海外勤務をしたいと漠然とした希望を持って入省しましたが、上司や同僚に支えられて経験を積むことができました。外務省には熱意と積極性を持った皆さんをサポートする環境が整っていると思います。是非チャレンジしてみてください。

情報通信(IT・情報セキュリティ)専門官

自分が楽しいと思える仕事に出会いました。

入省してから私はずっと通信に関わる仕事をしてきました。そんな中で最初の在外公館勤務の時に他国への出張の話が出ました。私は行きたかったのですが、「今回はシステムを知っている人に行ってもらおう」ということになり断念。この経験から「私がこれから外務省で仕事をしていく上ではシステムを知らないといけない」と実感し、それからの私は「もっとシステムを勉強したい、外務省のシステムをもっとよく知りたい」という想いを強くして、システムに携わることができる部署を希望してきました。

現在は情報通信専門官としてシステムの運用や新しいシステムの開発をしています。エキスパートであることのプレッシャーも大きく苦勞も多いのですが、同じ課員や先輩後輩、周りの環境にも恵まれていて助けられながら仕事をしています。今は本当に自分が楽しいと思えながらできる仕事に出会えたことは幸せなことだと思っています。



大臣官房情報通信課
YOSHIZAWA Yoko
吉澤 陽子
1993年入省



在ブラジル日本国大使館
IGETA Hideki
井桁 英樹
1998年入省

ロジスティクス専門官

後輩たちの成長が自分の成長につながっています。

「ロジスティクス専門官」という業務のやりがいについて簡単にお話したいと思います。この専門官の仕事にやりがいを感じるの、自分をはじめ後輩達の成長を感じたときです。

皆さんは平成から令和に変わった際に「即位の礼」というイベントがあったのを覚えておいででしょうか。即位の礼では約200か国の要人の受け入れをしました。この時の私の業務は移送班という、端的に言えば各国要人の移動(例えば空港から宿舎、宿舎から皇居や総理官邸への移動)をコントロールする班の総括でした。移送班では班員を複数組に分け、各国要人の宿舎に分散して業務をしてもらいました。多くの要人がそれぞれ移動するので、もちろん現場では様々なハプニングが発生しました。

それを丁々発止と皆でアイデアを出し合いながら移送班一丸となって乗り越えたとき、なんとも言えない高揚感と達成感を得ることができ、それらは乗り越えた者の武勇伝となります。私は後輩たちの現場での武勇伝を聞いていつも思います。「そうやって人は成長するのだ」と。その後輩たちの成長はすなわち自分の成長につながっています。

皆さんも是非、外務省で一緒に成長してみませんか。



外務省で働く皆さんの不安を少しでも取り除くお手伝いをしています。

外務省研修所では、新入省員のための初任研修や初めて在外公館勤務にあたる職員のための官房要員事務研修、在外公館赴任前研修など様々な研修を行っています。私はそれらの研修を通じて職員の皆さんの不安を少しでも払拭し、より円滑な業務のお手伝いができるこの仕事に大きなやりがいを感じています。外務省では当然、海外で仕事をする機会を得ます。それまでの日本での生活を一旦すべて終了して一から始める海外勤務では苦勞も多く、誰も知らない、友達もいないという不安もあると思います。

言葉や文化、風土や生活様式も違う中での仕事や暮らしに戸惑いもあると思いますが、それ以上に日本では決して得られない経験を行うことができます。これからの時代は今よりもっと様々な分野で世界が密接につながり、より身近になっていきます。私は外務省を目指す皆さんの若い力が新たな外務省の活気ある源泉となることを切に期待しています。



外務省研修所
指導官
ISHIKAWA Kazuhiro
石川 和広
1982年入省



在サンタクルス領事事務所
所長
ONO Masami
大野 政美
1982年入省

多種多様な国で仕事をして人間としての幅が広がったと感じています。

私は南米ボリビアのサンタクルス県にある領事事務所に勤務しています。サンタクルス県は日本とほぼ同じ面積を持つ大きな県で、領事事務所から車で北に2～2時間半のところにオキナワとサンファンという2つの広い日本人移住地があります。その移住地の方々をはじめとする県内にお住まいの日本人の方への領事サービスを中心に、日本をよく知ってもらうために県知事や市長、各議員との関係づくり、日本文化の紹介を行っています。

これまで中南米、北米、アジア、欧州と、これまで計8か国で勤務しました。多種多様な国で生活し、それぞれの国の人々や文化に触れ、楽しいことも多く、人間としての幅が広がったと感じています。また、海外から見る日本の素晴らしさを改めて感じる事ができたと思っています。

外務省の仕事は色々経験できます。是非一緒に海外で充実した仕事をしませんか。

海外で仕事をして、暮らすチャンスがある。この機会を逃さないでください。

入省当時から会計に携わる仕事をずっとやってきたので、数字が苦手だった私は常に勉強の毎日でした。ただそのおかげで会計法令や予算関係に関する多くの知識や経験の蓄積ができ、それをもとに業務を改革するなど、仕事も楽しめるようになりました。そして外務省の魅力はなんと言っても「在外公館がある、海外で暮らすことができる」ということだと思います。

海外で仕事をするということは日本とは異なる価値観や日本人と全く違う感性の人たちと一緒に仕事をしなければならないということ。在外公館では現地スタッフとともに働くことで、日本とは異なる彼らの価値観に触れて自分の価値観も揺さぶられ、先入観にとらわれず物事の本質を見る眼が養われることにつながります。

これから外務省を目指す人たちはせっかく海外へ行くチャンスがあるので、仕事だけではなく、「自分の世界」を持って趣味や活動の幅を広げ、自分の人生を豊かなものにしてほしい。それが仕事にも良い影響を与えてくれます。是非臆することなく挑戦してください。



大臣官房会計課
会計調査官
TSUCHIYA Kenji
土屋 健二
1982年入省



在アメリカ合衆国日本国大使館
参事官
TAKAHASHI Masakazu
高橋 昌和
1986年入省 技術系

外交の表舞台を支える陰の仕事も日本のために働く魅力的な職場です。

私は公のために働くことができ、そして海外勤務で視野を広げることができる外務省に魅力を感じて入省しました。特に米国は入省当時から興味があり、三度も勤務できたことは幸運でした。今回の勤務では通信広域担当官に指名され、大使館の業務だけでなく北米地域にある総領事館など20の管轄公館の業務支援も任されています。

在外公館の通信業務は、外交情報を守るために独自に開発した通信システムなどの運用管理です。もし適切に運用されなければ情報が流出し国益を損なうことにもなるので、経験を積んだ広域担当官が管轄公館の業務支援を行う必要があります。

また、所属公館では政務班、経済班への技術支援を行い、外交活動を技術面から支えています。このように外務省には表舞台で活躍する仕事のみならず、それを陰で支える仕事がたくさんあります。

どのような仕事を担当したとしても日本のために働いているという実感が持てますので、とても魅力的な職場だと思います。

大使からのメッセージ



駐ボリビア特命全権大使
HOKIDA Osamu
伯耆田 修
1977年入省

実力に応じたポストに就くことができる、それが外務省です。

私は漠然とした海外への憧れだけで外務省への道を選びました。入省後、目標であったメキシコ留学を手にし、海外では5公館において領事、広報文化、経済協力、会計、通信の担当を経験し、その後、メキシコの在レオン総領事を経て駐ボリビア特命全権大使を拝命しています。

これまでの在外公館での勤務を振り返りますと、特に小規模の在外公館では複数の担当業務を任されることがあり、その経験や知識の蓄積によって幅広く業務を行えるようになり、やる気さえあれば自分を成長させ、また、幅広く活躍できる場所があると思いました。

大使の仕事としては、今何をすべきかを考えながら、閣僚・政財界の要人との会談や経済協力の署名式・引渡式への出席、ボリビア政府・団体の行事への参加などを行っています。日本を代表する立場であることを考えながら行動し緊張の連続ですが、私に親近感を持って接してくれる人が増え、相互理解の増進やボリビアの経済社会発展につながっていると考えるとやりがいを感じています。

前向きな姿勢で自分を磨き、その能力が認められれば実力に応じたポストに就くことができるのが外務省です。私も外務省に育てられ大使という重責を担っています。自分を成長させその力を試したい、海外で活躍してみたいと思っている方、外務省でお待ちしております。



入省から現在までの経緯

- 1977年 入省
アジア局南東アジア第二課勤務
(フィリピン業務)
- 1986年 在コスタリカ日本国大使館
(会計・経済協力業務)
- 1990年 在エクアドル日本国大使館
(広報文化・通信業務)
- 1993年 大臣官房領事移住部政策課
- 1996年 在パナマ日本国大使館(領事業務)
- 2001年 在メキシコ日本国大使館(領事業務)
- 2004年 在スペイン日本国大使館(領事業務)
- 2007年 領事局政策課領事サービス室(総務業務)
- 2012年 領事局政策課領事体制強化室長
- 2015年 領事局海外邦人安全課邦人援護官
- 2017年 在レオン日本国総領事館総領事
- 2020年 在ボリビア日本国大使館特命全権大使



人事担当者からのメッセージ

夢を抱き、自由闊達にチャレンジする若い力を待っています。

外務省は世界視野でものを見て、様々な経験をする機会に恵まれるため、必然的に幅と厚みのある人間として成長できる土壌があります。今までテレビなどで見たり、本で読んだりした場所・出来事を直接自分の目で見て体験することができます。普通に日本で暮らしていたら行くことのない国で勤務する機会もあります。皆さんが住んでいる日本を外から見てその良さを再確認できるとともに、今まで普通だと思っていた事がそうではないところも見えてくるでしょう。

仕事面では、上司の信頼を得ることができれば、自身の担当業務にとどまらず多様な業務を任せられることがあり、とてもチャレンジングな職場だと思います。もちろん期待される成果を示すことができなければ評価を落とされるという厳しい面もありますが、定期的に違う国・職場環境に異動配置されるので、人的・物理的景色が変わって面白い仕事環境だと思います。

我々「一般職員」は基本的に後方支援部隊であり、外務省のピラミッドではベース部分に属すると説明されることがよくありますが、組織を支えているという誇りを持ち、夢を抱き自由闊達に職務に向き合っています。

自分の仕事の境界線を引くことなく、任せられたら何でもチャレンジする、新しい刺激を柔軟に取り入れ、慢心することなく謙虚に、自分の引き出しを増やして成長していただきたい。困難に遭遇することもあるでしょう、でも私の経験から、どんな困難も長く続かないものです。

外務省は、これからの日本外交を支える若い力を求めています。世界に羽ばたき、世界を舞台に活躍する皆さんをお待ちします。

大臣官房人事課
人事企画官
OYA Yoichi
大矢 洋一
1980年入省



入省1～3年目職員が語る外務省とは

海外での生活や仕事に憧れがあり外務省に入省しました。普段の生活や学生の時にはできないような海外とのやりとり、国際会議を間近で見られるなど貴重な体験ができるので、すごく楽しい職場だと思います。語学研修では先生方が丁寧に分かりやすく教えてくれるので、英語に不安を感じることはありません。一緒にお仕事できるのを楽しみにお待ちしております！



国際協力局地球環境課
FUSE Wataru
布施 渉 2021年入省

先輩方が温かく優しく接してくれ、とても風通しが良く働きやすい職場環境です。実際の業務で英語を使うことがあるのも魅力的で、自分が今まで知らなかった日本の外交政策や海外のことを知ることができます。ここでしか経験できない仕事がたくさんあるので試験がんばってください。



経済局国際経済課
ISHII Sakurako
石井 桜子 2021年入省

一般職職員も数年後には必ず在外公館に赴任して海外で働けることが大きな魅力です。語学研修をはじめ受講できる研修が多く、業務を行いながら自分を高めることができます。外務省というお堅いイメージがあるかと思いますが、同僚は優しいばかりで、とても働きやすい職場なので少しでも興味を持っている人は是非外務省を目指してください！



大臣官房総務課
OGUNI Mao
小國 茉央 2021年入省

一般職職員の採用担当部署に配属され、採用する側として学生と関わる責任ある仕事に携わっていることで、より積極的に取り組むことができ、入省前との印象に違いを感じています。人事課には同期も多く仕事でわからないことは何でも相談でき、プライベートでも仲の良い私にとっては心強い存在です。



大臣官房人事課
OGAWA Takuto
緒川 卓人 2021年入省

日本の外交を支える縁の下の力持ちとして、様々な仕事に取り組むことができます。世界を舞台に日本を支え発展させていきたいと考える方、是非外務省でともに働きましょう。



大臣官房情報通信課
KOBAYASHI Hiroaki
小林 宏成 2021年入省 技術系

報道課員として迎賓館や外務省飯倉公館で行われた外交行事の取材対応に携わり、各国大臣の話を直接聞くなど外交現場の緊張感を味わうことができました。外務省はテレビのニュースで見ていた現場を体感でき、刺激的でやりがいのある職場なので日々成長できます。一緒に楽しく仕事しましょう。



大臣官房報道課
HATTA Aoi
八田 葵 2020年入省

採用試験の種類にかかわらず、職員全員に海外勤務の機会があります。本省勤務でも所属課によっては海外と関わる業務があるので外務省員としてやりがいのある日々を送れるかと思えます。海外に少しでも興味、関心、働きたい！という気持ちがある方は是非一緒に働きましょう！



総合外交政策局軍縮不拡散・科学部国際原子力協力室
ABE Takaki
阿部 天輝 2020年入省

外務省ではここでしか得られない知識や経験がたくさんあります。毎日新しいことを学ぶことができ、世界各国の大使館の設計・工事ができる特殊で面白い仕事だと思っています。学校と就活の両立で大変な時期や色々悩むこともあると思いますが、外務省はやりがいを持って働ける職場だと感じています。頑張ってください！



大臣官房在外公館課営繕室
TSUJI Sayuri
辻 早百合 2020年入省 技術系

直接的に外交に関わることは少ないですが、裏側できちんと役割を果たすことによって間接的にも貢献していると実感できたとき、入省直後の説明会で聞いた「縁の下の力持ちのような存在となって是非外務省を支えてください」という言葉を思い出します。学生生活を楽みつつ、試験対策に力を入れてがんばってください。



アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課
KAIYA Akane
海谷 朱音 2019年入省

外務省は業務を通じて様々な方と交流する機会があり、人としてより成長できます。何事にも挑戦する気持ちを忘れずにがんばりましょう！



欧州局政策課
IGARI Kazuya
猪狩 和也 2019年入省

これまでの配属先で数多くの総理大臣や外務大臣の海外出張案件に携わってきました。外務省で働くとは必ず視野が広がるといいますので試験頑張ってください！



北米局北米第一課
KUROKAWA Ryoya
黒川 凌也 2019年入省

採用情報

国家公務員一般職(高卒者試験・大卒程度試験)からの採用

外務省では、人事院が実施する国家公務員一般職(高卒者・大卒程度)試験に合格し、人事院が作成する「採用候補者名簿」に掲載された者の中から面接により職員を採用しています。

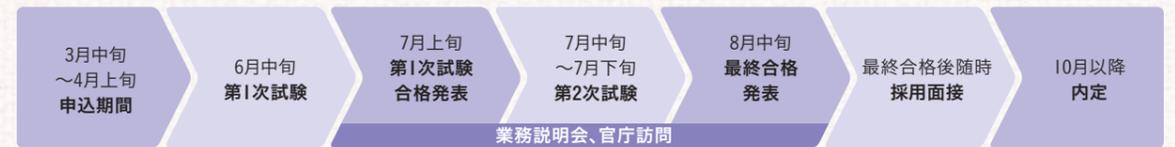
※外務公務員法第7条により、日本国籍を有する者であっても外国の国籍を有する者は外務公務員になることができません。

●待遇

初任給	一般職(高卒程度) 180,720円 一般職(大卒程度) 218,640円 (注)令和3年4月1日現在
諸手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当(賞与)
勤務時間	7時間45分/日
休暇	土曜日、日曜日、祝日、年次休暇(年20日・初年は15日)、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引など)、育児休業、介護休暇

●採用内定までのスケジュール

国家公務員採用一般職(大卒程度・技術系試験)



国家公務員一般職(高卒者試験)



外務省では、一般職のほかに総合職・専門職などの採用を行っています。

総合職職員

外務省の総合職職員は本省、在外の様々な地域・分野のポストを経験して、管理職さらには幹部職員として活躍することが期待されています。総合職職員については、原則として、アラビア語、英語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語(年によっては朝鮮語が含まれる)の中の一つが研修語として指定されます。

外務省専門職職員

外務省専門職職員は、高い語学力を有し、関連する国・地域、あるいは条約、経済、経済協力、軍縮、広報文化などの分野で専門性を発揮しつつ活躍することが期待されています。外務省専門職職員については、原則として、40数言語の中の一つが研修語として指定されます。

※最新・詳細の採用情報については、外務省採用情報ページをご確認ください。

●外務省採用情報ページ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/saiyo/index.html>



●外務省(学生向け)Twitter

https://mobile.twitter.com/Mofa_student

